

リスクアプローチ (1)

- ✿ リスク (誤謬を生ずるおそれ) の大きい項目を優先して評価する。
- ✿ リスクは「固有リスク」、統制リスク、発見リスク」の3つに分けられる。
- ✿ 一定水準以上の正確さを確保できたという心証を形成する。
- ✿ 算定基準に起因する不確実さは除外する。

検証結果の判定 (検証意見 2)

✿ 検証チームの判断

- 機関決定ではない
- 検証所見報告書に機関決定までの手順を明記

✿ 検証機関の判断

- 無限定適正

(検証機関は被審査機関の算定報告書が算定基準に照らして適切であると判断する。)

- 限定付き適正

(検証機関はGHG情報が一部又はすべての側面で算定基準に適合しないと判断するが、算定結果に及ぼす影響は限定的である。)

- 不適正

(検証機関は被審査機関による算定報告書が算定基準に適合せず不適切であると判断する。)

- 意見差し控え

(検証機関はGHG情報の一部又はすべての側面が算定基準又は算定報告書に適合しているかを評価するための、十分、適切かつ客観的な証拠を得ることが出来ず、意見を差し控える。)